



(この便りは、相双建設事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

### ◆ 県道大芦鹿島線(南相馬市鹿島区<sup>じさばら</sup>禧原)が再開通。

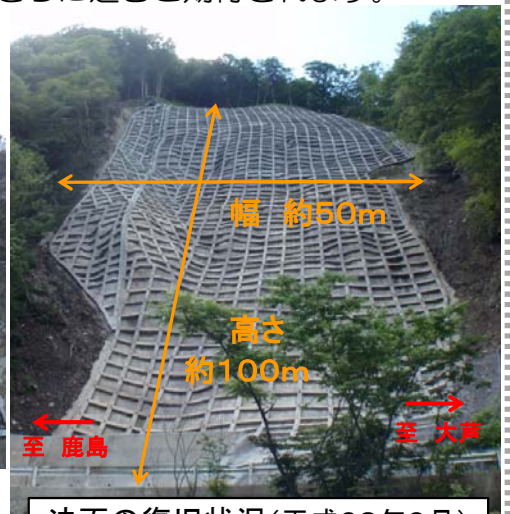
法面の崩落等により、震災以降、通行止めとなっていた県道大芦鹿島線(南相馬市鹿島区禧原地内3km)は法面の復旧工事が完了したことから、9月29日(木)に再開通しました。

法面崩落の規模が大きいこと(高さ約100m×幅約50m)などにより、法面の復旧工事等に時間を要し、約5年の通行止めの間、地域の皆さまの生活などに影響を及ぼしておりました。

今回の再開通により、中通りに向かう県道原町川俣線と南相馬市鹿島区方面を直接結ぶ交通が確保され、人の流れや広域的な物流などが円滑になるため、地域の復興がさらに進むと期待されます。



法面の崩落状況(平成23年3月)



法面の復旧状況(平成28年9月)

### ◆ 県道浪江鹿島線の鶴谷工区(南相馬市原町区)が完成。

車道が狭く、歩道が未整備のため、自転車の通行等が危険な県道浪江鹿島線の鶴谷工区(約0.6km)について、拡幅改良や歩道整備等の主たる工事が完成しました。(一部の残工事は11月完成予定)

これにより、今年7月に避難指示が解除された南相馬市小高区へ向かう交通の流れが安全で円滑になり、避難されている方々の一層の帰還促進などが期待されます。



改良工事前の状況

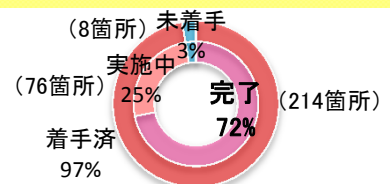


改良工事後の状況(10月6日撮影)

### ◆ 東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況(平成28年9月末)

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

(帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。)



○次回は「埴浜地区防災緑地の整備状況」の予定です(進捗状況等により変更する場合があります)

